

NAAの第3滑走路計画は

空港もう一つ造る暴挙

1月28日、千葉県は幹部をそろえた「成田空港活用推進本部」の初会合を開き、第3滑走路整備の具体化に乗り出しました。第3滑走路建設は、空港の拡張などではなく、もう一つ新しい空港を芝山に造るに等しい暴挙です。人が住めなくなります。決して許してはなりません。

町の未来かかった選挙 芝山を廃村から守ろう

2月14日に、芝山町議会の選挙が行われます。最大のテーマは第3滑走路を許すかどうかです。町の未来がかかっています。国とNAAの横暴を許したら真夜中も飛ぶ24時間空港化にされてしまいます。

こうした中、石毛博道氏と共に3滑走路を推進しているのが相川勝重・芝山町長です。相川町長は、「第3滑走路を芝山に誘致すれば税金が入り町の利益になる」と居直っていますが、町民の猛烈な怒りをかけています。「騒音地獄の拡大で町を破壊して



昨年9月の「第3滑走路目指す会」弾劾行動(上)。「30万回化」(2010年)の時の説明会。相川町長は住民の激しい追及を受けた

何が『町の利益』か」と。成田市久住地区では、国やNAAに対する住民の行動が始まりました(2面参照)。全町民、全空港周辺地域住民の怒りで第3滑走路を阻もう。

相川町長による利権目当ての誘致許すな

2・29 耕作権裁判へ

- 2月29日(月) 午前10時30分
- 千葉地方裁判所

菅沢多古町長許すな

第3滑走路、24時間化を先頭で推進



菅沢町長が住民無視発言をくり返した4者協議会（昨年11月27日）

多古町の菅沢英毅町長の発言に地域住民の怒りが高まっています。菅沢町長は昨年11月27日の4者協議会で、第3滑走路推進の発言を行い「住民も同じ気持ちだ」などと述べました。のみならず、「成田の夜間飛行制限は限界にきているもっと緩和すべきだ」と強調しました。菅沢町長の姿勢は、他の首長と比べても突出しています。第3滑走路ができれば、多古町がどれほどの騒音にさらされるのか、分かっているのでしょうか。町長失格です。

久住地区でNAAの説明に反発

成田市久住地区で1月30日、騒音対策委員会の理事会が開かれ、国、NAAなどを呼びつけて、Bランの1000m北延伸を中心に説明を受けました。参加した住民は口々に怒りをぶつけました。「2010年の30万回化の時、2013年の深夜・早朝便規制緩和の時に約束した騒音対策、落下物対策が実現されていない。にもかかわらずBランの延長や飛行便数の増加などとんでもない。約束実行が先だ」と追及しました。

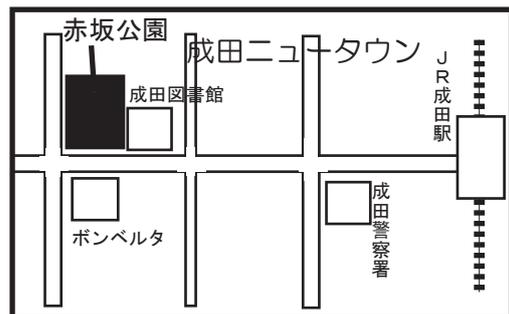


4者協の説明に住民が反発したことを報じる新聞（1月31日 千葉日報）

3・27全国集会場 成田市赤坂公園に決定

昨年の栗山公園に続き、成田市中心部で開催

私たちが毎年3月に行っている全国総決起集会を今年は27日正午、成田ニュータウンの中心部にある赤坂公園で行います。昨年の栗山公園に続いて、成田市民や地域住民の皆さんが参加しやすい場所で開きます。安倍政権と対決する集会です。参加をお願いします。



市東さんを先頭に最高裁への第1次署名提出行動を闘った（1月28日）



最高裁あて署名を提出

第1次分1万1126筆

1月28日、反対同盟と支援の労働者・学生は、最高裁判所への「農地取り上げ反対第1次署名提出行動」を闘いました。午後2時30分、行動団は、千代田区隼町の最高裁判所西門前に集合しました。門前に「最高裁第3小法廷・大谷剛彦裁判長、日置朋弘調査官は高裁判決を破棄せよ」と大書された横断幕を広げ、小集会を行いました。

そして、市東孝雄さんを先頭に、事務局員の萩原富夫さん、顧問弁護団の葉山岳夫弁護士ら計17人が構内に入り、嶋原史浩（しぎはらふみひろ）訟廷主席書記官補佐に11126筆の署名を手渡しました。

反対同盟の申入書を萩原さんが読み上げ、葉山弁護士が、市東さんの農地取り上げは、民事訴訟を悪用し裁判所を使った実質的な強制収用であり、あらゆる意味で憲法違反であるとし、東京高裁判決の破棄を

要求しました。

市東さんは「農地を守ることが私の使命。1審判決を破棄してもらいたい」と強く訴えました。反対同盟は今後も、第2次、第3次の署名提出を行うことを宣言しました。

支援連が上野公園で署名運動

支援連絡会議は署名提出行動を前に上野公園で市東さんの署名運動に取り組み、2時間で146筆の協力を得ました（写真）。修学旅行の高校生はじめ多数が協力してくれました。



目標の5万筆達成まで、闘いは続きます。

防衛省に配備されたPAC3（1月30日）



イージス艦、PAC3（迎撃ミサイル）配備許すな

戦争国家への既成事実作り

北朝鮮による「ミサイル発射策動」を口実に、安倍政権がイージス艦3隻、PAC3迎撃ミサイル多数を各地に配備して、米韓日による朝鮮侵略戦争の臨戦態勢に入りました。昨年9月の安保法制強行に続く戦争国家化攻撃です。反戦の砦・三里塚は安倍戦争政治と対決し闘います。

地域住民の声

成田～芝山～多古～

芝山町、成田市旧下総町の住民から意見を頂きました。第3滑走路を推進する相川勝重・芝山町長への怒りが語られ、騒音下の住民からLCC(格安航空)の危険性が指摘されました。

第3滑走路なんて言語道断、止めなきゃダメ

芝山町・元会社員(男性)

第3滑走路が芝山に誘致されそうだと聞いて、腹を立てている。そもそも私は政府のやることは信用していない。だから第3滑走路を許したら、4本目も5本目も造ると言い出すんじゃないかと疑っている。元空港反対派だった相川町長や石毛博道氏の変節にもあきれてものが言えない。どこを

どう押せば、芝山町を廃村に追いこむ3500人滑走路の誘致なんていう考えが出てくるのか。

安倍政権がいよいよ本性をあらわにしてきた。9条の改憲を言い出した。反対同盟のような50年にもなる粘り強い運動が大切だと実感する。がんばってください。

経費を切り詰めるLCC(C(格安航空)が怖い

成田市旧下総町・主婦

うちのあたりは騒音直下ではないけど、飛行コースはあてにならないから真上も飛んで、かなりうるさい。頻繁に飛ぶ飛行機を眺めながら、この間の軽井沢の高速バス事故を思い出した。あれだって、経費をぎりぎりに切り詰めてるから安い料金で運行できているんでしょ。結局、LCCも事故を起こした高速バスと同じこと。日本でも大惨事寸前の事故を起こしている。外国では墜落事故が何件もおきているじゃない。安全を最優先しろと言いたい。

TPP「聖域守った」は大ウソだった

弁護士、市民グループが協定全文を解読



TPPによって結局は「聖域」全部が関税撤廃に追い込まれると報じる東京新聞(2月2日付)

新聞報道によれば、弁護士と市民のグループが何千ページもあるTPP協定文の翻訳と解読を進めた結果、日本の農産物への関税の除外は明記されていないことが明らかになりました。「聖域は守られた」なる安倍政権の宣伝は大ウソでした。すでに「聖域」の3割は関税ゼロですが、残りの7割も、7年後に「再協議」が待っていて、ここで関税の完全撤廃を求められる可能性の高いことが分かりました。TPPは撤回あるのみです。反対の闘いを強めよう。